

ロータリークラブ ライオンズクラブ

ウェビナー方式でIM開く

国際ロータリー第2760地区東尾張分区

12RC421人参加 地球環境テーマに

国際ロータリー第2760地区東尾張分区の「インターシティミーティング(IM)」がこのほど、瀬戸市蔵所町の瀬戸蔵つばきホールを会場に、ウェビナー(ウェブ・セミナー)方式で開催された。ホストは瀬戸北ロータリークラブ(RC)、大橋孝志(会長)で、同分区12RCの421人が参加。配信会場には岩倉後援ガバナーや伊藤保徳瀬戸市長らを迎え、新しい形でのIMが開催された。

(尾東・山岡賢彦)

「瀬戸蔵つばきホール」を会場に「ウェビナー」方式で会場に配信した

NEWS&TOPICS

- ROTARY CLUB
 - LIONS CLUB
 - JUNIOR CHAMBER
 - KIWANIS CLUB
- 【毎週水・金曜日に掲載】

IMは毎年、各RC持ち1ポソゼロの支援のもと、回りで開催しており、近隣地球を救うために地域環境RCとの意見交換と親睦をへの取り組みを行ってきた。今後のデジタル社会に深めるのが狙い。同分区には瀬戸、大山、江南、小牧、おけるIMの在り方を模索春日井、尾張旭、名古屋空しつづきさまの協力で開催博、岩倉、名古屋城北、愛でき、うれしく思う」と述知長久手、瀬戸北、愛知ロータリーEクラブの12RCが所属する。

今回のテーマは「地球を救うために、地球の環境を良くしよう。」カーボンゼロへの取り組み。コロナ禍のため同ホールを会場にライブ配信による初のウェビナー方式で開催された。

冒頭、あいさつに立った大橋会長は「コロナゼロ、カーボンゼロの支援をお願いします。地球を救うために、地球の環境を良くしよう。」カーボンゼロへの取り組み。コロナ禍のため同ホールを会場にライブ配信による初のウェビナー方式で開催された。



歓迎の言葉を述べる大橋会長



式典終了後に岩倉ガバナーや大橋会長らを含む式典関係者のメンバー

また、来賓あいさつに立った伊藤市長は、「RCの皆さまと一緒に、未来ある子どもたちのため、気候や気象、チャレンジシッを持ってまちづくりを進めていきたい。」「推進力をお願したい」と話した。

続く記念講演では、ノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学特別教授の天野浩氏がオンラインで登場。「昨今の半導体不足と電力消費削減のためのワイドギャップ 半導体の役割」



RCメンバーを激励する岩倉ガバナー



伊藤市長はRCにまちづくりへの協力も求めた



「今まで以上に結束させたい」と決意を語る武藤次期分区ガバナー補佐



さらに次期分区ガバナー補佐として岩倉RCの武藤栄司氏が紹介され、各RCのお力添えも頂きながら、それぞれの活性化を図り、奉仕理念を高め、今まで以上に結束をさせたい」と決意を表明した。

次期ホストクラブの岩倉RCの深見早恵会長は「本年度のIMは各RCと協力して開催し、RCの理想実現に向けて新たな一歩を踏み出す気持ちで行い」とあいさつを行い、会を締めくくった。